

福島労働局発表



平成29年11月14日

担当

福島労働局 労働基準部

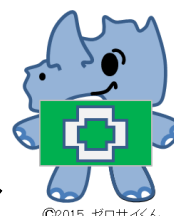
健康安全課長 清水 俊明

産業安全専門官 松尾 真由美

電話024-536-4603 (直通)

「福島労働局 総合建設業 労働災害撲滅・魅力ある職場づくり会議」を開催

～総合建設業者(ゼネコン)約40社、100名が出席予定～



福島労働局（局長 島浦幸夫）は、福島県内で建設工事を施工しているゼネコン約40社を対象として、自主的な労働災害防止活動の一層の活性化と建設業における魅力ある職場づくりの推進を目的として、標記会議を開催します。

福島県内における建設業の労働災害は東日本大震災を境に急増し、平成26年に迎えたピーク以降は減少しているものの、別添表のとおり、震災前と比較して依然として高い水準にあります。また、建設業においては、人材不足の状況にあることから、人材確保のために労働災害防止と魅力ある職場づくりが急務となっており、本会議を開催するものです。

記

日 時 平成29年11月20日（月） 午後1時30分より

場 所 コラッセふくしま 4階多目的ホール（福島市三河南町1-20）

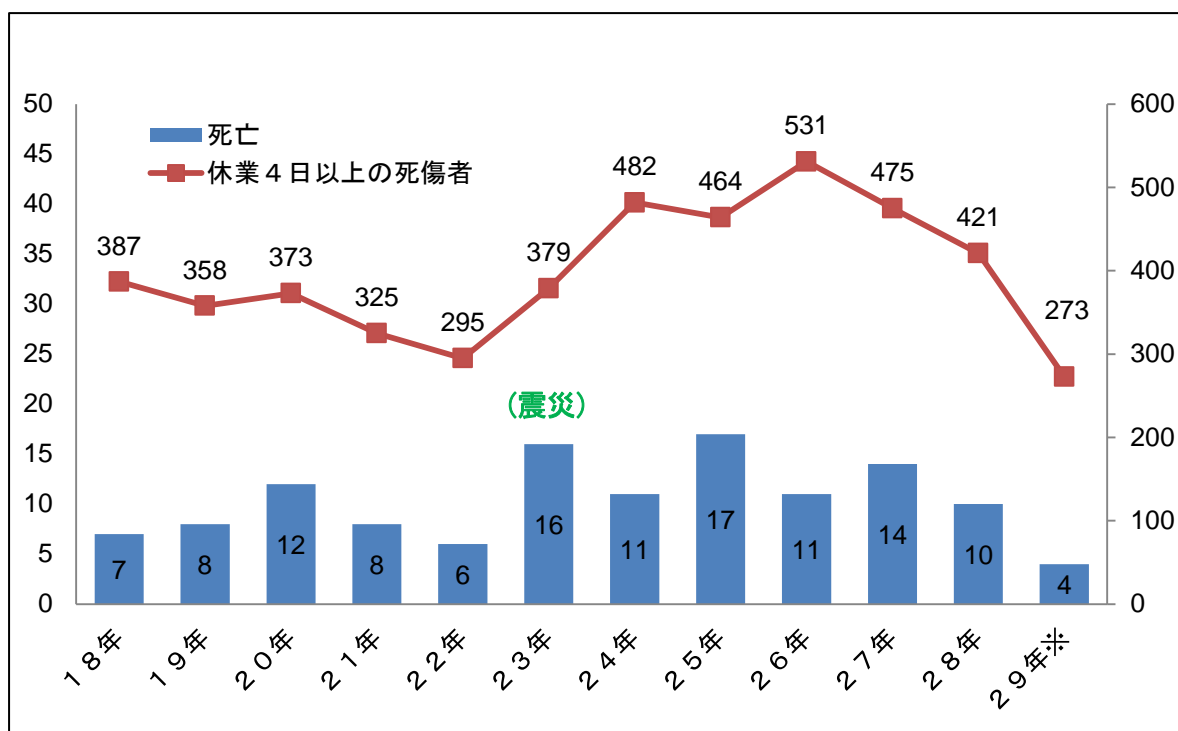
出席者 福島県内で工事を行う総合建設業者（ゼネコン）約40社100名
※各社東北支店の安全担当部長、各現場の現場責任者等が出席予定

議 題

- ① 労働災害発生状況及び労働災害防止対策について
- ② 長時間労働の削減等に向けての国の取組について
- ③ 労働災害防止と魅力ある職場づくりの取組事例発表

※ 本対策会議は、平成26年8月の「死亡労働災害多発非常事態宣言」を受け、同年9月に初めて開催して以降、今回で7回目（今年度1回目）の開催となります。

《 表 福島労働局管内の建設業の労働災害発生状況 》



※ 平成29年は10月末までの報告分